

# イマドキの 野生動物

宮崎学

Miyazaki Manabu *Wild Animals Now*

## 【凡例】

- 作品のデータは、作品番号、タイトル、サイズの順に記載した。
- サイズはイメージサイズ(タテ×ヨコmm)である。
- 作品は9-16、91-109は銀色素漂白方式印画、それ以外はすべてインクジェット・プリントである。
- 所蔵先の記載のない作品はすべて宮崎学の所蔵である。

## Notes

- Data on the works are given in the following order: catalogue number, title, size.
- Size is the size of the image (vertical x horizontal, mm).
- Works 9-16 and 91-109 are silver dye bleach prints. All others are inkjet prints.
- All works belong to Miyazaki Manabu unless otherwise stated.

# I ニホンカモシカ

## Japanese Serow 1970-73

---

1

伐開地の倒木に登り実生新芽を食べるニホンカモシカ

A serow climbs a fallen tree in a clear-cut area and eats new shoots.  
410×273

2

中央アルプスの稜線から下界を見下ろすニホンカモシカ

A serow gazes down on the world below from a ridge in the Central Alps.  
273×410

3

ニホンカモシカは高山帯に逃げ込ん

でいたといわれた時代

Back when it was said the serows had taken refuge in alpine zones.  
410×273

4

森林皆伐された斜面で振り返ると若いニホンカモシカが見つめていた

Look back on a clear-cut slope, and a young serow is looking right at you.  
410×273

5

高山のイメージがつきまとうニホンカモシカはやはりハイマツ帯がよく似合う

Serow may have an alpine image clinging to them, but the creeping pine zone suits them well.  
273×410

6

初めて、カモシカにであう。中央アルプス 1700 メートルの高山

First encounter with a serow: a 1700 meter tall mountain in the Central Alps.  
380×380

7

雪崩があっても気にすることなく餌探しをする

Not bothered that an avalanche had occurred, it continues hunting for food.  
380×380

8

新雪に行動するニホンカモシカを撮ってみたかった

I wanted to photograph a serow's actions in the new-fallen snow.  
273×410

# II けもの道

## Animal Trail 1976-77

---

9

テン

その昔、中央アルプスで獲れるテンの毛皮は一等品とされていたと聞く。このテンの毛皮を見る限り、それを裏つけているような気がする

Marten

380×510

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

10

ヒメネズミ

多くのネズミの仲間は、極度に驚くとジャンプする習性がある。このヒメネズミも何かに驚いたらしく、まさに飛び上がった瞬間である

Small field mouse

375×510

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

11

テン

このテンは、厳冬のアマリの寒さにストロボのバッテリーが低下してしまい、光量不足のまま写された結果である。この方がかえって冬の厳しさが感じられる。私の好きな写真の1枚である

Marten

360×510

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

12

カケス

雪の日は、カケスが地上におりていることが多かった

Eurasian jay

380×510

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

13

ガトカマドウマ

ガが飛んできてビームに触れた地上では、夜行性のカマドウマが出現中であった

Moth and camelback cricket

380×510

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

14

ニホンザル

サルの尻もこのくらいまともに見てしまえば、ある種の芸術性を感じる。このように糞丸がゆるんでいるということは、警戒心をといている証拠だとあるサル学者が教えてくれた

Japanese macaque

380×510

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

15

人間

ノネズミ、ノウサギやテンの大きさからしてみると、人間はいかに大きいかわることができる

Human being

360×510

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

16

ニホンカモシカ

早朝であろうか、カモシカがやってきました。このカモシカは、感知装置には気が付かないまでも、カメラの存在は充分に承知していた

Serow

510×405

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

# 倒木のけもの道

## Windthrow Animal Trail 2012-13

---

17

リス

軽業師のリスは倒木も跳んでいく

Squirrel

500×728

18

ネコ

これはノラネコ

Domestic cat

500×728

19

キツネ

口いっぱい獲物をくわえて家路を急ぐ

Fox

500×728

20

サル

サル家族が倒木で憩っていた

Macaques

500×728

21

ハクビシン

3頭の子供を連れて移動中

Masked palm civets

500×728

22

テン

新雪の上でもテンは平気

Marten

500×728

23

サル

寒中の朝、大ザルが散歩

Macaque

500×728

24

ツキノワグマ

クマの出現を予測して2年目にやってきた

Black bear

500×728

25

ニホンカモシカ

蹄をもつカモシカは丸太橋を渡らなかつた

Serow

500×728

26

山菜採りのおじさん

この倒木にはナラタケが生える

Human male hunting for edible wild

plants

500×728

# 岩田の森 けもの道

## Iwata no Mori Animal Trail 2011-12

---

27

テン

考えごとをしているようなテン

Marten

500×728

28

ニホンカモシカ

食べた茎を爪楊枝にして歩く

Serow

500×728

29

ウサギ

Rabbit

500×728

30

サル

Macaque

500×728

31

キツネ

Fox

500×728

32

キツネ

Fox

500×728

33

タヌキ

Tanuki (raccoon-dog)

500×728

34

イノシシ

Wild boar

500×728

35

ニホンカモシカ

Serow

500×728

36

人間

Human being

500×728

37-39

ツキノワグマ

Black bear

500×728

40

人間

Human being

500×728

41

ニホンザル

Macaque

500×728

# III 鷲と鷹

## Eagles and Hawks 1965-80

---

42  
北アルプス、槍ヶ岳を背景に飛ぶイヌワシ  
A golden eagle in flight, Mt. Yariyatake in the background, in the Northern Alps.  
304×304  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

43  
イヌワシ  
新雪の樹林帯に上昇気流をもとめる Golden eagle  
Claiming the updraft over a forested zone in fresh snow.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

44  
クマタカ  
新緑に囲まれた親子  
Mountain hawk-eagles  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

45  
クマタカ  
鋭い目つきで周囲をうかがうクマタカ  
Mountain hawk-eagle  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

46  
クマタカ  
生まれて6日のヒナ。すでに猛禽の精悍さがそなわっている  
Mountain hawk-eagle chick  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

47  
クマタカ  
ウサギをしとめる  
Mountain hawk-eagle  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

48  
ノスリの親子  
Buzzard and chicks  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

49  
精悍な顔つきをしたノスリ  
A buzzard, looking intense  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

50  
オオタカの巣と卵  
A northern goshawk nest and eggs  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

51  
オオタカ  
林の中に鋭く目を配るメス  
Northern goshawk  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

52  
ハイタカ  
ここはメスの調理場  
Eurasian sparrowhawk  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

53  
ハイタカの巣と卵  
A Eurasian sparrowhawk's nest and eggs  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

54  
ハチクマ  
オスが持ってきたハチの巣をくわえ、翼をふるわせて歓喜するメス  
Crested honey buzzards  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

55  
ハチクマ  
翼をひろげ、ヒナを直射日光から守るメス  
Crested honey buzzards  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

56  
ハチクマ  
目の周囲はハチに刺されないように硬くて細かい羽毛がびっしり生えている  
Crested honey buzzard  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

57  
チゴハヤブサ  
カラスの古巣を再利用して卵をあためるメス  
Northern hobby  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

58  
カムリワシ  
巣立ち近いヒナ  
Crested serpent eagle  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

59  
カムリワシ  
西表島の密林に作られた巣  
Crested serpent eagle  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

60  
カムリワシ  
スコールにうたれるメス  
Crested serpent eagle  
505×304  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

61  
ハヤブサ  
数キロ先の獲物をも視野におさめる視力をもつ  
Peregrine falcons  
505×304  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

62  
トビ  
新雪の中で抱卵中  
Black kite  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

# IV フクロウ

## Ural Owls 1982-88

---

63  
ネズミをつかんで  
Gripping a mouse.  
505×304  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

64  
飛び立つフクロウ  
Owl taking off.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

65  
フクロウの飛翔  
秒速10メートルで飛ぶフクロウの翼の動きを見ることは不可能だ。1秒に8回のマルチストロボが、その動きを見せてくれた  
Owl in flight.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

66  
獲物をおさえる直前  
獲物を捕らえる瞬間は、たいせつな目を保護するために、まぶたを閉じている  
Just before pinning down its prey.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

67  
ネズミに向かう  
Towards a mouse.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

68  
垂直に飛びあがるフクロウ  
強靱な足で大地をける  
An owl taking off, straight up.  
304×505  
東京都写真美術館

69  
着地の瞬間  
どんな暗闇でもフクロウは目が見える  
The moment of landing.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

70  
獲物を運ぶ親鳥  
The parent owl, carrying food.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

71  
巣に舞いおろる親鳥  
一晩になん度も巣に獲物を運ぶ  
The parent owl lands in the nest.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

72  
巣穴で羽づくろい  
Grooming in the nest hole.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

73  
巣穴の中の卵  
Eggs in the nest hole.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

74  
巣穴の中でネズミを食べるメス  
Female owl eating a mouse in the nest hole.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

75  
巣穴の中の卵  
Eggs in the nest hole.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

76  
卵を抱くメスを上から見る  
メスはからだを回転させながら卵を抱いている。卵のかけらが散乱していた  
Viewing a female owl incubating the eggs from above.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

77  
卵を抱くメスに獲物を運ぶオス  
仕事の分担しており、オスが獲物を運んでくるとメスはうれしそうな声を出す  
The male owl brings its catch to feed the female incubating the eggs.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

78  
巢の中のヒナたち  
Owlets in the nest.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

79  
すくすくと育つヒナとメス親  
オスは次々に獲物を届ける  
Healthy owlets and their mother.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

80  
巢だちが近いヒナ  
愛らしい表情のなかにも野生のもつ猛々しさがある  
Owlet about to fledge and leave the nest.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

81  
巢だったヒナ  
昼間、巨木に隠れている。それでもまわりの動きが気になる。好奇心がおうせいだ  
An owl that has fledged.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

82  
樹の垂直の幹をのぼるヒナ  
翼でからだのバランスをとりながら木にのぼる。足指の力はずよい  
A fledgling climbing a perpendicular tree trunk.  
505×304  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

83  
草むらで獲物を捕らえた  
獲物の息の根をとめて、あたりを見回す  
It caught some prey in the grass.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

84  
枝にとまる瞬間  
フクロウは目を保護するために、しゅん膜とまぶたを閉じる  
The very moment of landing on a branch.  
1000×1000  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

85  
大寒の夜  
どんなに寒い夜でも、晴れていれば活発に動きまわる。フクロウは寒さにつよい  
Night of extreme cold.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

86  
雪がやんだ深夜のとまり木  
夕方、どんなに激しく雪が降っていても、深夜に雪がやめばフクロウは活動を始める  
Perching on a tree late at night when the snow has stopped.  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

87  
フクロウと雪  
Owl and snow  
505×304  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

88  
フクロウと雪  
雪の夜のフクロウを撮影する機会はほとんどない。しかし、フクロウと雪はよく似合う  
Owl and snow.  
1500×1000  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

89  
顔  
Face  
304×505  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

90  
とまり木に寄りそうオスとメス  
新しい繁殖シーズンをむかえたオスとメスがいつまでも寄りそってとまっていた  
A male and female nestle together on a tree branch.  
304×505

## V 死 Death in Nature 1993

冬の死・ニホンジカ 1993  
コムツガの森のはずれに、ニホンジカの死体が雪にうもれていた  
Death in winter: Serow  
The serow's body is buried in the snow at the edge of a hemlock forest.

91  
冬の日本アルプスは、めまぐるしく天候が変わる。日中カラッと晴れわたっていても、夜になっていきなり雪が降り始める日も少なくない。  
1月20日14時32分  
14:32 p.m., January 20  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

92  
日中に雪が溶けて、夜間に小雪の降る毎日。輪郭がうすすらと浮かび上がった死体の前肢に、早朝カケスがやってきた。カラス科のカケスは、死肉を好んで食べる。  
1月27日6時36分  
6:36 a.m., January 27  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

93  
30センチもの新雪に、死体が隠されることもある。それでも、雪の下からかすかに死臭が漂うらしく、けものたちは臭いのみなもとを探知しようと毎晩、偵察にきていた。  
2月8日1時17分  
1:17 a.m., February 8  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

94  
雪に埋もれては現れる日が、3週間続いた。けものたちは、獲物があることを確実に知っている。しかし、いちばん先に食らいつくことは、たいそう勇気が必要とすることらしい。  
2月10日9時05分  
9:05 a.m., February 10  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

95  
タヌキが、また1頭加わった。3頭のタヌキがシカを食べ始めたら、あっという間に死体は小さくなっていった。2月13日23時56分  
23:56 p.m., February 13  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

96  
ほんの少しの生肉をつまんで、あわただしく死体を離れるというのが、テンの食事法だった。テンの出現はいつも一瞬だった。  
2月17日21時43分  
21:43 p.m., February 17  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

97  
シカの死体はもうほとんど食べつくされ、残るは頭部のみとなった。キツネが脳髓を欲しがっている。  
2月25日1時42分  
1:42 a.m., February 25  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

98  
根雪がなくなったものの、早春には、まだ雪の降ることもある。背骨だけが残る死体にやってくるけものたちも少なくなった。3月10日20時02分  
20:02 p.m., March 10  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

99  
本当は、タヌキかキツネかがこの骨を持って行きたかったのだろう。それを不可能にした理由が、雪解けでやっとわかった。骨は立ち木にひっかかっていたのである。  
3月20日17時32分  
17:32 p.m., March 20  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

100  
5月、背骨もとうとうなくなった。腐りかけた骨髄を欲しがったタヌキの仕業かもしれない。冬の死体は現場に骨も残らない。5月20日16時32分  
16:32 p.m., May 20  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

101  
シカの体毛の大部分が小鳥たちの巢材になり、残りはバクテリアが分解してしまった。ここに死体があった痕跡は、もうどこにも見あたらない。8月12日15時02分  
15:02 p.m., August 12  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

春の死・タヌキ 1993  
5月初旬、ヒノキの植林地にタヌキの死体が雨にうたれていた  
Death in spring: Tanuki  
Early in May, a tanuki's body was being rained on in a reforestation area planted with hinoki cypress.

102  
一歳ぐらいの若いメスのタヌキが死んでいた。何が原因で死んだのかはわからない。5月11日22時41分  
22:41 p.m., May 11  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

103  
卵からかえったうじはタヌキの腹部に入りこみ、猛烈な勢いで死体をむさぼり食った。その周辺をガが乱舞していた。5月19日19時35分  
19:35 p.m., May 19  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

104  
小雨の日、うじが蛹になるためいっせいに死体を離れた。うじは雨で濡れた地面を這ったほうが、移動しやすいからだ。5月21日4時43分  
4:43 a.m., May 21  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

105  
占有権を得るための「臭いづけ」行動なのだろうか。ハクビシンが自分の首筋を死体にこすりつけている奇妙な姿があった。5月26日0時46分  
0:46 a.m., May 26  
340×510  
東京都写真美術館  
Tokyo Photographic Art Museum

106
アカネズミが、死体の上ののぼっている。体毛を拾いにきたのか、それともうじを食べに来たのか。

5月26日1時47分

1:47 a.m., May 26

340×510

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

107
シジュウカラがわが子のしとね用に、タヌキの体毛を捨っていく。死後の体毛が、自然界ではちゃんとリサイクルされていく。5月29日10時08分

10:08 a.m., May 29

340×510

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

108
雨をうけた死体は、もう一度腐敗臭を発した。ハエがそこに卵を産み、ふたたび分解が始まった。

7月5日20時19分

20:19 p.m., July 5

340×510

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

109
うじも食べるところがなくなったころ、完全な骨格だけが死体であることを物語る。夏の死体は、五体そろってそのまま骨が残った。8月23日17時11分

17:11 p.m., August 23

340×510

東京都写真美術館

Tokyo Photographic Art Museum

## 死を食べる

### Eat Death

### 2012-16

110
港に外道として捨てられていたカジカを食べるカラス
A crow eats a sculpin, which had been thrown away at the harbor (rejected as not the kind of fish intended to be caught).

485×728

111
タヌキとテンが求めるのはニホンジカの死体だった
The tanuki and marten are after the remains of a serow.

485×728

112
骨ばかりとなったニホンジカの死体を食べにきたテン

The marten has come to eat the remains of a serow, which has been reduced to bones.

485×728

113
ニホンジカの死体にテンとタヌキ夫婦が呼ばれてきた

A marten and a pair of tanuki have been called to the remains of a serow.

485×728

114
テンは魚も積極的に食う
The marten also eats fish aggressively.

485×728

115
溪流にキツネの死体が引っかかっていた

A fox's body has been carried down the stream.

485×728

116
イノシシが死体を食べる作法は内臓から…

The boar's procedure for eating a cadaver is to begin with the internal organs . . .

485×728

117
死体の背後から食い始めるイノシシ

A boar begins eating the remains from the rear.

485×728

118
ニホンジカの腸を引きずり出すツキノワグマ

A black bear drags out the serow's intestines.

485×728

119
真夏の死体に湧くうじの踊り食いをするツキノワグマ

In mid summer, a black bear eats the live maggots hatching from the remains.

485×728

120
繁殖期のシジュウカラにとってタヌキの死体はその体毛が巢作りに役立つからうれしい

To this Japanese tit in breeding season, the fur on the tanuki's body is useful in nest building.

485×728

121
けものたちの死から始まる体毛散乱はシジュウカラの産座となる

The fur and hairs from animals' dead bodies become the egg-incubating platform in the Japanese tit's nest.

485×728

122
冬のリスはタヌキの死体から動物脂肪を求めている

In winter, the squirrel was searching for animal fat from the remains of a tanuki.

485×728

## VI アニマル黙示録

**イマドキの野生動物**
**Animal Apocalypse**
**Wild Animals Now**
**1993-2012**

123
漂流物の台所洗剤のキャップを宿にしたオカヤドカリ

「ヤクルト・ヤドカリ」や「キュービー・ヤドカリ」も。いまや世界中の海は私たちの身近なゴミであふれかえっている

A hermit crab makes its home in a kitchen detergent bottle cap that had been washed ashore.

340×505

124
新宿三丁目のネズミ

A rat in Shinjuku 3-chome, Tokyo

340×505

125
ハシボンガラスの巣
桜島を望むクログネモチの木に作られた巣。素材はスキの皮、化繊綿、グラスウールが使われていた

A carrion crow's nest

340×505

126
道路工事現場のニホンザル

イマドキの野生動物は環境変化もすぐに学習して受け入れていく

A macaque at a highway construction site

340×505

127
コンクリート水路のマンホールが土砂で詰まったところを棲みかにするタヌキ

A tanuki makes its home where dirt has piled up in a manhole on a concrete waterway.

340×505

128
アフリカ原産の熱帯魚 ティラピア
鯛に似た食味から全国各地でさかんに養殖されている。山梨県石和町では温泉旅館の排水が流れ込むどぶ川に逃げ出して野生化していた

A tilapia, a tropical fish native to Africa

340×505

129
白昼堂々、お供え物のナシを盗んでいくサル

A macaque steals a Japanese pear, an offering at a grave, in broad daylight.

600×900

130
ヌートリアの親子

兵庫県のため池で、夜間にヨシの根をかじる。周囲はマンションが立ち並び、国道も走っている人口密集地

Nutria, parent and child.

600×900

131
夜間のテニスコート脇で眠る野生ザルたち

Wild macaques rest beside a tennis court at night.

340×505

132
中央アルプスのハイマツ帯で憩うサルたちは、低地から高標高地まで分布を広げてきた

These macaques, resting in the creeping pine zone of the Central Alps, have expanded their range from the lowlands to the highlands.

340×505

133
「鳥インフルエンザ」の流行でハクチョウ渡来地では餌付けに非難が集中した
With the spread of avian flu, there was considerable criticism of feeding the swans at their migratory ground.

600×900

134
ホタテの貝殻の山で残滓を餌に求めるカモメ

A seagull on a mountain of scallop shells, looking for leftovers to eat.

340×505

135
1世紀も前の鉱山人夫の飯場跡に人の糞を求めてニホンジカがやってきた

A spotted deer has come in search of human traces at what had been a miners' bunkhouse a century ago.

340×505

136
廃屋のトイレに糞尿をなめに来たシカ

Spotted deer have come to lap up human waste at an abandoned outhouse.

340×505

137
ニセアカシアのポリフェノールを求め食うニホンザル

A macaque eats black locust blossoms in search of polyphenols.

340×505

138
増えすぎたカワウのヒナが生まれにくいように石膏の偽卵を抱かされている

A great cormorant is incubating fake eggs, made of plaster of paris, placed to keep it from raising more chicks, since these birds are multiplying excessively.

340×505

139
1990年当時は家庭生ゴミも埋め立てられていた

そこには餌を求めてカラスやカモメやトビが数万羽も集まっていた

In 1990, this site was reclaimed with landfill consisting of household trash.

Thousands and thousands of crows, seagulls, and black kites gathered there in search of food.

340×505

140  
神奈川県川崎市のペットたちの墓地  
数十万体の愛玩動物たちが眠る。丁寧に葬られる動物もいれば、そのお供え物を狙って出没する輩も。霊園周辺にはお供え物目当ての野良猫やタヌキやカラスがたくさん生息している  
A pet cemetery in Kawasaki, Kanagawa prefecture.  
340×505

141  
ハクチョウたちが北アルプスを背景に月光浴…  
Swans bathe in the moonlight, with the Northern Alps in the background.  
340×505

142  
夜間のねぐらを町のなかにも求めたコサギたち  
Little egrets have gathered in town in search of roosts for the night.  
340×505

143  
タイワンリス  
鶴岡八幡宮の柵の上で愛嬌を振りまくタイワンリス。すっかり人慣れし、カメラを近づけても逃げない  
Taiwanese squirrel  
340×505

144  
静岡県浜松市の公園  
大量に野生化したタイワンリスが遊ぶ  
Large numbers of Taiwanese squirrels, having reverted to the wild, play in Hamamatsu, Shizuoka prefecture.  
340×505

145  
アライグマ  
深夜3時、東京・新宿の繁華街に現れたアライグマ。飲食店から出た生ごみをあさる  
Raccoon  
340×505

146  
ビルとビルのすきまを通り抜けていくアライグマ。通行人が無関心なのをいいことに、大胆に行動している  
A raccoon makes its way through the space between two buildings.  
340×505

147  
山間部の道路沿いの電線は、サルたちにとって空中パイパスになっている  
The power lines along the road in the mountains are the macaques' aerial bypass.  
340×505

148  
東北の放射能汚染土を詰めた土のう  
Coots relax in a pond beside sandbags filled with radiation-contaminated soil, in the Tohoku.  
600×900

149  
大津波で破壊された農機具の脇でナワバリ宣言をするキジ、福島  
キジは自然攪乱された場所を好む  
A pheasant proclaims its territory, beside farm equipment ruined by the tsunami, in Fukushima.  
340×505

150  
タヌキ、福島にて  
疥癬(かいせん)にかかったタヌキ  
A tanuki, in Fukushima  
340×505

151  
被災者の仮設住宅に入れないネコは野外で暮らす。福島  
A cat, not permitted to join the disaster victims in their temporary housing, lives in the wild:  
Fukushima.  
340×505

152  
家屋に自由に入出入りするテン  
福島原発事故のあと、立ち入り禁止区域の浪江町の空き家に1年間無人カメラを置き、定点観測した  
A marten goes freely in and out of the buildings.  
340×505

153  
原発事故で人は逃げブタは逃され、野生イノシシとの間に生まれたイノブタが無人となった家屋に自由に入出入りする  
After the nuclear power plant accident, people fled and their pigs were let free. This *inobuta*, a cross between a wild boar (*inoshishi*) and a domesticated pig (*buta*), goes freely in and out of a deserted house.  
340×505

154  
塩化カルシウムが染み込んだ土を巡って争うニホンジカ  
These spotted deer battle over land soaked with calcium chloride.  
505×340

155  
橋脚下の河原には、水に溶けた塩化カルシウムが高速道路から垂れ流されている。それをなめに、夜な夜なシカがやってくる  
Calcium chloride dissolved in water flows from the expressway down to the riverbed beneath the bridge footings. Night after night, spotted deer come to lick it.  
340×505

156, 157  
道路凍結防止剤として道路にまかれた塩化カルシウムをなめるサル  
Macaques are licking up calcium carbonate that had been scattered to keep the roads ice free.  
340×505

158  
甲府の街灯りとアライグマ  
Streetlights in Kofu and a raccoon.  
340×505

159  
東京の新興住宅街のたんぼにもキツネが暮らしていた  
A fox was living by a rice paddy in a newly developed residential area in Tokyo.  
340×505

160  
若いハクビシンがリンゴを食らう  
A young masked palm civet eats an apple.  
340×505

161  
捨てられたスイカの山に群れるイノシシの家族  
A wild boar family gathers at a heap of discarded watermelons.  
340×505

162  
ツキノワグマのカメラマン  
ツキノワグマはとても好奇心が強い。設置しておいたカメラと三脚で戯れるクマの姿をもう1台の無人カメラがとらえた  
A black bear photographer.  
2000×1100

163  
隣の塀はけもの道  
ツキノワグマが塀を通る。このクマは耳にタグをつけており、一度捕獲され奥山に再放獣されたが再び里へ戻ってきた  
The neighboring ditch is an animal trail.  
340×505

164  
夜、ニジマスの養殖場に侵入し、獲物を捕っていくツキノワグマ  
At night, a black bear sneaks into a rainbow trout farm to secure a good catch.  
340×505

165  
北海道の農耕地はマガンやハクチョウなどシナントロープにとっての聖地  
Farmland in Hokkaido, with geese, swans, and other creatures, is sacred territory for the synanthrope.  
340×505

166  
缶コーヒーの残り香を楽しみながら散歩するニホンザル  
A macaque strolls along, enjoying the remaining aroma from a canned coffee can.  
340×505

167  
大阪、箕面市公園の駐車場のニホンザル  
ゴミ箱でランチを楽しむニホンザルがいた。週末に次々に訪れる行楽客が残していった生ゴミは、彼らにとってはうれしいごちそうだ  
A macaque in the parking lot of a park in Mino City, Osaka.  
340×505

168  
日没間近  
養殖生け簀にタイを狙ってアオサギがやってきた。すぐ向こうではライトアップされた美浜原発がタービン音をどろろかせて運転中だった  
Just before sundown: a blue heron has arrived in search of sea bream at a fish farm.  
340×505

169  
海水浴でにぎわう福井県美浜市の海岸。水辺に群れるヒトの向こうに、くつきりと美浜原発のドーム  
The shore at Mihama, Fukui prefecture, a popular spot for seaside recreation.  
340×505

## VII 新・アニマルアイズ New Animal Eyes 2018-21

170  
ドングリをくわえるカケス  
椋鳥＝カシドリの由来はここから…  
A Eurasian jay with an acorn in its beak.  
515×728

171  
カケスの雨覆羽は美しすぎるが、紫外線で見れば色も違うはず  
The Eurasian jay's wing coverts are just too beautiful—but their colors should change when seen in ultraviolet light.  
515×728

172  
カケス  
Eurasian jay  
515×728

173  
キジバトの飛翔  
全国どこにも普通に増え続けているキジバトも、森のなかでは翼をこれほどまでにしなやかに使っているとは思わなかった  
A rufous turtle dove's wings.  
515×728

174  
テン  
夏毛で顔が黒くなるテンは、ブッシュ内では獲物を確認しやすくなっている可能性がある  
Marten  
515×728

175  
テン  
耳と目と鼻を同時に使うテンは、臭いをとるために舌で鼻を濡らすことが多い  
Marten  
515×728

176  
雪穴から顔を出したテン  
A marten peeking out from a hole dug in the snow.  
515×728

177  
獣害対策で野生動物が里に來ないようにフェンスを設置するも、平気でよじ登り突破するツキノワグマ。頭の影が幹に映り、野生のたくましさを認めざるをえない  
A black bear climbs over a fence intended to keep wildlife out.  
515×728

178  
ツキノワグマは思慮深い目もち、いつも人間社会を観察している  
The black bear is always observing human society with its deeply thoughtful eyes.  
515×728

179  
100キロをはるかに超えた巨熊がフェンスを折り曲げ越えていく  
This giant bear, which weighs far more than a hundred kilograms, folds the fence beneath it as it crosses.  
515×728

180  
ツキノワグマを可愛いという人がいるが、この表情こそ彼らの心理そのものだ  
Some people think the black bear is cute. This expression encapsulates their mentality.  
515×728

181  
ツキノワグマの手は驚くほど器用で、柔らかい肉球の隅々まで細やかな神経が行き届いている  
The black bear's paws are surprisingly dextrous, with fine nerves reaching every corner of their soft pads.  
515×728

182  
苔の生えたこの石の上には3頭のツキノワグマが巡回していた  
Three black bears were circling around the top of this moss-covered boulder.  
515×728

183-185  
森にはヒメネズミが驚くほどの数で生息しており、それぞれに地中から樹上にまで活動の範囲をひろげている  
An amazing number of small field mice live in the forest. Each is expanding its range from down inside the earth to the tree tops.  
515×728

186  
クルミをくわえて枝から跳び移りながら、森を素早く移動していくリス  
A squirrel, holding a chestnut in its mouth, leaps from a branch, moving swiftly through the forest.  
515×728

187  
森を跳ぶリスの正面顔は意外にも真剣だった  
Seen head on as it leaps through the forest, the squirrel has an unexpectedly serious expression.  
515×728

188  
リスは表面上は可愛らしくみえるが、森での生き方はネズミそのもので、立体的に森空間を巧みに生活の場に行っている  
Squirrel  
515×728

189  
ニホンザル  
南アルプスにはミネラル分を大量に含んだ泥土が露出しており、そこに多くの野生動物たちが内臓強化のために集まってくる  
Macaques  
Sludge or mud rich in minerals is exposed in the Southern Alps, attracting many wild animals to consume it and strengthen their internal organs.  
515×728

190  
胆のうをもたないニホンジカたちは、年間を通して多数がミネラル分の補給にやってくる  
Spotted deer do not have gall bladders. Many come here throughout the year to supplement their mineral supply.  
515×728

191  
ニホンカモシカは、好々爺のように森を慈しみいつも静かに歩くのが印象的…  
The serow, quietly walking through the forest, treating it like a beloved elder, is so impressive.  
515×728

192  
夜行性のムササビは樹洞の巢で寝起きの伸びをした  
The Japanese giant flying squirrel, a nocturnal animal, stretches in its nest in a hollow in a tree.  
515×728

## 君に見せたい、空がある

### There's a Sky I'd Like to Show You

---

## 2020-21

193  
テン  
夏毛に変身したテンがすばやく走っていった  
Marten  
950×950

194  
ニホンザル  
サルがレンズを怪訝そうに見つめていた  
Macaque  
950×950

195  
ツキノワグマ  
いつも思慮深い目で森を歩いている  
Black bear  
950×950

196  
虫  
Insect  
950×950

197  
ネコ  
野良ネコもすっかり野生の一員  
Cat  
950×950

198  
ノウサギ  
森の音にいつも聞き耳を立て緊張している  
Hare  
950×950

199  
リス  
思わずレンズに手をついてしまった  
Squirrel  
950×950

200  
タヌキ  
この冬毛となったタヌキは極めて健康体  
Tanuki  
950×950

201  
ノウサギ  
後肢がいかに巨大かがこれでよくわかる  
Hare  
950×950

202  
水滴  
森に水がどれだけ必要かがわかる  
Drops of water  
950×950

203  
サル  
ニホンザルの冬毛はあまりにも素晴らしい  
Macaque  
950×950

204  
ヤマガラ  
小さなヤマガラにとって森は大きな海にちがいない  
Varied tit  
950×950

205  
リス  
雪の間から覗く目は澄み、指は活動的…  
Squirrel  
950×950

206  
タヌキ  
夜のタヌキはいつも斜に構えて歩いている  
Tanuki  
950×950

207  
柴犬  
縄文時代からいた日本犬も、大地から宇宙を見ていたにちがいない  
Shiba dog  
950×950

208  
リス  
大地で黙々と食事中的リスも宇宙を見ている  
Squirrel  
950×950

209  
ヤマガラ  
森はヤマガラにとっては自遊空間だ  
Varied tit  
950×950

210  
雪  
地表をびっしり雪が覆えば土中の生物は一安心できる  
Snow  
950×950

宮崎学 イマドキの野生動物  
2021年8月24日 [火] - 10月31日 [日]  
東京都写真美術館 2階展示室

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館  
後援：信濃毎日新聞社  
協賛：ニコン/ニコンイメージングジャパン/東京都写真美術館支援会員  
協力：モンベル

---

Miyazaki Manabu: Wild Animals Now  
Tuesday, August 24 to Sunday, October 31, 2021  
Tokyo Photographic Art Museum 2F Exhibition Gallery

Organized by Tokyo Photographic Art Museum operated by Tokyo  
Metropolitan Foundation for History and Culture  
With the patronage of The Shinano Mainichi Shimbun  
Sponsored by Nikon Corporation, Nikon Imaging Japan Inc., the Corporate  
Membership of Tokyo Photographic Art Museum  
Supported by mont-bell Co., Ltd.